

## 種目【音楽（器楽合奏）】調査研究資料

調査項目	着眼点	調査の方法
1 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むこと	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるための合奏や楽器の分量はどのようなものであるか。</li> <li>・「歌唱、創作、鑑賞」と器楽との関連はあるか。また、それらの分量はどうか。</li> </ul>
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力、判断力、表現力等を育むためのどのような内容や活動が取り上げられ、構成・配列・分量はどのようなものであるか。</li> </ul>
2 主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促すとともに、生徒の学習習慣が確立するように配慮すること	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲を喚起するための教材や、学習活動はどのようなものであるか。</li> <li>・学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感することができるようにする上で、どのような特徴があるか。</li> </ul>
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返しの学びや補充的な学び、発展的な学びなど、生徒一人一人の多様な学びに応じた工夫がどのようにされているか。</li> </ul>
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを味わえるような内容や教材はどのようなものを取り上げられているか。</li> <li>・和楽器の指導について、どのような内容を取り上げているか。</li> </ul>	
4 印刷・製本等にかかわること	(1) 教科書の重量やページ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の大きさ、厚み、重量など、生徒の発達段階に応じたものになっているか。</li> </ul>
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜の大きさ、示し方、フォントの種類や大きさなど、誰もが読みやすいものになっているか。</li> </ul>
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目次、索引、巻末資料等は、どのような特徴があるか。</li> </ul>

### 調査項目・着眼点の根拠

■中学校学習指導要領（平成29年告示）  
第1章 総則 第1 2  
（1）基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、生徒の発達の段階を考慮して、生徒の言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するように配慮すること。

■岐阜県教育振興基本計画（2019年3月）  
基本方針3  
目標 11「これからの時代に求められる資質・能力」の育成